

投資事業評価調書（継続）

部課室名	農林水産部農林水産局 農地整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	農地整備課長 板井 丈夫 (盛 健二)	内線	4003 (4014)
------	---------------------	---------------------	---------------------------	----	----------------

事業種目	ほ場整備	事業名	事業区間	総事業費	約23億円
		県営ほ場整備事業 (担い手育成型)	印南地区	内用地補償費	約1.67億円
所在地			事業採択 年 度	着工年度	完成予定 年 度
加古郡稲美町			H5	H5	H16
			進捗率 (内用補進捗率)		
			96%(100%)		

事業の目的		事業内容	
<p>本地区は、都市近郊の条件を生かした営農が行われているが、区画は小区画・不整形で、用排水路・農道等が未整備なため、営農に多大な時間を要し、不安定な農業経営を強いられている。</p> <p>ほ場整備により、耕地の区画形質の改善、用排水路や農道等の整備、農地の集団化等を総合的に実施することによって、農業経営の安定化を図る。</p>		<p>区画整理 100ha</p> <p>関連事業 農業集落排水事業（印東地区）</p> <p>工事費の負担割合 (国：50%、県：27.5%、市：10%、地元：12.5%)</p>	

進捗状況	<p>ほ場整備区域内に保存が必要な文化財（播州葡萄園跡）が発見されたことや景観保護のため現況水路の一部を保存することになったことにより区画形状に変更が生じたこと、また、工事実施にあたっての地元調整に時間を要したことから、事業工期が当初工期よりも遅れていた。</p> <p>しかし、面工事でも平成14年度で完了する見込みであり、平成15年度以降は換地処分に向けた作業を行い、平成16年度には事業完了の予定である。</p>
------	---

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性	<p>当地区は、水稻を中心に都市近郊の立地条件を生かし、キャベツ、トマト等の野菜を生産しているが、現状の農地は小区画かつ不整形で用排水路、道路も未整備なため、営農に多大な時間と労力を要している。</p> <p>農業経営の安定及び地域の活性化を図るためには、本事業により、区画形質の改善、用排水路、農道等の整備、換地による農地の集団化を実施し、併せて担い手への農地の集積を促進して生産性の高い農業構造を実現する必要がある。</p>
(2)有効性・効率性	投資効率1.03、所得償還率12.4%であり、事業としての効果が期待できる。
(3)環境適合性	現況水路の一部を残すとともに、幹線排水路の一部に魚巢ブロックや落差工を設置するなど地域に生息する生物の生息環境の保全に努めている。
(4)優先性	営農に多大な時間と労力を要している本地区においては、ほ場整備事業により農業経営の安定、地域の活性化を図るとともに、農業集落排水事業（印東地区）との一体的な整備を進めており、早期に事業を完成する必要がある。

評価の結果	継続妥当	左の理由	上記の理由により継続が妥当である。
-------	------	------	-------------------